

「おでかけなんじい」の運行・利用状況について

平成 30 年 3 月

南 城 市

1 「おでかけなんじい」の現在の運行形態

- 昨年度検討した増減便のルールにしたがい、平成 29 年度は 10 月より 20 時便が廃止となっています。
- また、土曜日は 4 月から 16 時便が 2 台から 3 台に増便となっています。

表 1.平成 29 年度の「おでかけなんじい」の運行形態

項目	内容	
名称	おでかけなんじい	
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域及び沖縄県立向陽高等学校（八重瀬町字港川 150 番地）	
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）	
利用料金	一人一律、1 回 300 円（未就学児は無料） 12 枚綴り 3,000 円の回数券を発行	
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行（フルデマンド）	
運行曜日	平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31～1/3 は除く	
運行時間帯	平成 29 年 4～9 月	平成 29 年 10 月～
	<ul style="list-style-type: none"> ●8～21 時(8 時台～20 時台の 1 時間ごとに運行) ●平日 9 時台～18 時台、土曜日の 11～16 時台は 3 台/時運行 ●その他の時間帯は 2 台/時運行 	<ul style="list-style-type: none"> ●8～20 時 (8 時台～19 時台の 1 時間ごとに運行) ●平日 9 時台～18 時台、土曜日の 11～16 時台は 3 台/時運行 ●その他の時間帯は 2 台/時運行
運行車両台数	最大 3 台(10 人乗り車両)	
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の 30 分前までに電話にて予約。ただし、8 時台は前日までの予約が必要。	
運営体制	運行業務及びオペレート業務は、地方自治法に基づく随意契約で選定。	

表 2.増便・減便等に関する基準(案)

項目		基準
減便	3 台→2 台	2.0 人/台未満
運行取り止め		0.5 人/台未満
増便	2 台→3 台	3.5 人/台以上
	3 台→4 台	4.0 人/台以上

※上記基準にしたがい、1 年毎に見直しを行う。
 ※運行エリアが広い為、1 台/時のみでの運行は行わない。
 ※時間帯別の運行台数に凸凹が生じないように柔軟に運用する。

表 3.平成 29 年度の上半期と下半期の「おでけなんじい」の運行台数

曜日	時期	時間帯												
		8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時
平日	上半期	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2
	下半期	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	0
土曜日	上半期	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
	下半期	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	0
日祝日	上半期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	下半期	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	0

2 「おでかけなんじい」の運行・利用状況

2.1 運行状況

(1) 運行便数

●一日当たりの**運行便数は安定**しており、平成29年度（2月まで）は概ね31便/日で推移しています。

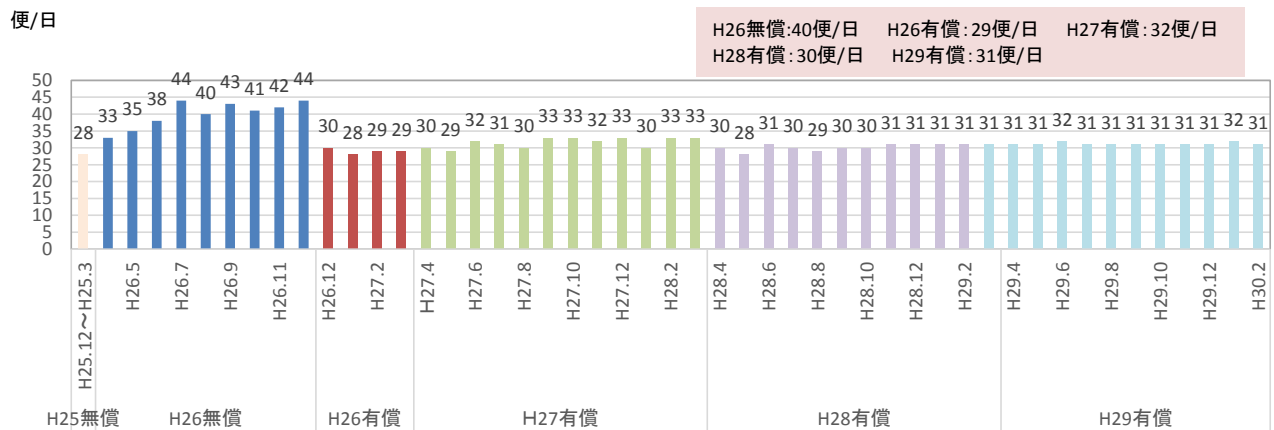


図-1.「おでかけなんじい」の運行便数の推移(実績ベース)

(2) 平均乗車人員

●平成29年度における平均乗車人員は2.7人/便前後で安定的に推移しています。

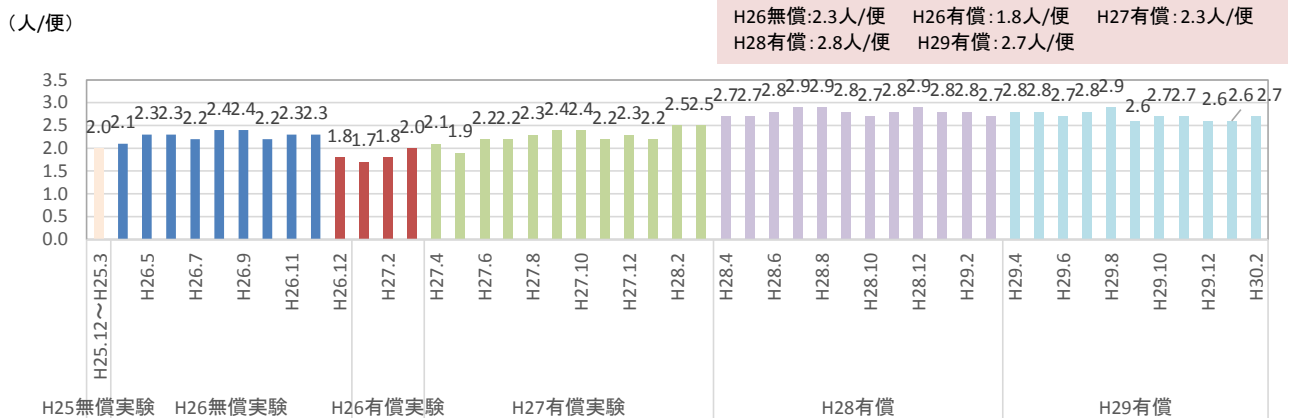


図-2.「おでかけなんじい」の平均乗車人員の推移

(3) 収支

- 平成 29 年度における収入の見込みは 20,800 千円であり、内訳は運賃収入が 12,300 千円と約 6 割、補助金が 8,500 千円と約 4 割を占めています。補助金は、有償で運行しているため、国の地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統補助）を活用しています。
- 支出の見込みは、44,700 千円であり、運行経費が 33,900 千円と約 8 割を占め、その他には運営経費（オペレータ、システム運用等）が 9,500 千円、その他が 1,300 千円となっています。
- 平成 29 年度における収支の見込みは、23,900 千円の赤字、収支率は 47%となっています。
- 平成 29 年度から南城市地域公共交通網形成計画の策定を受け、補助金の額が 4,500 千円から 8,500 千円に増額したこともあり、収支は平成 28 年度の赤字 25,100 千円、収支率 40%から改善されています。

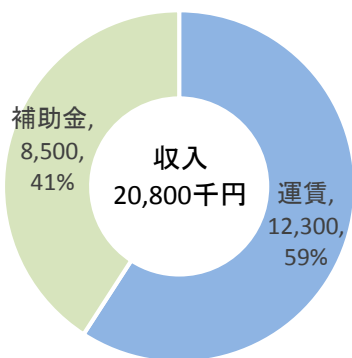


図-3.平成 29 年度における収入の内訳

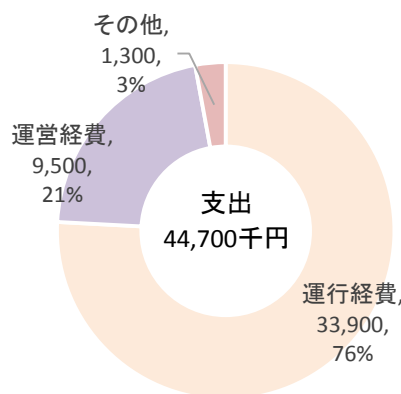


図-4.平成 29 年度における支出の内訳

■ 運賃 ■ 補助金 ■ 運行経費 ■ 運営経費 ■ その他
(千円/年)

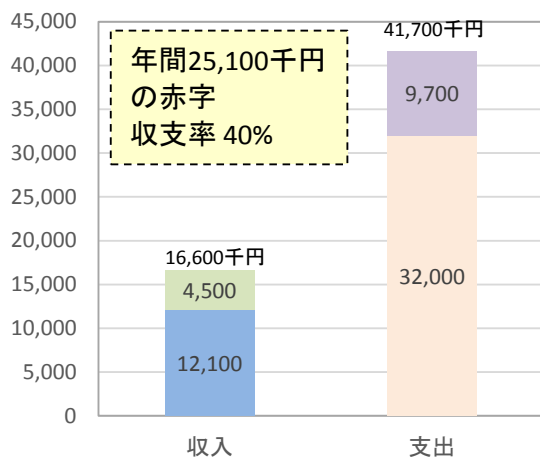


図-5.平成 28 年度における収支

■ 運賃 ■ 補助金 ■ 運行経費 ■ 運営経費 ■ その他
(千円/年)

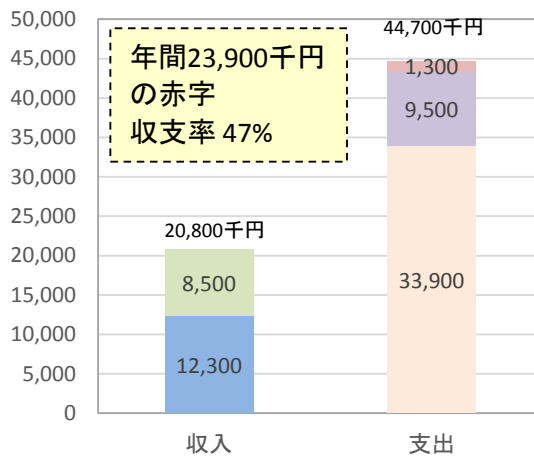


図-6.平成 29 年度における収支

2.2 登録状況

- 「おでかけなんじい」の登録者数は平成30年2月で4,731人と、1年前の平成29年2月の4,041人から1年間で690人増加しています。

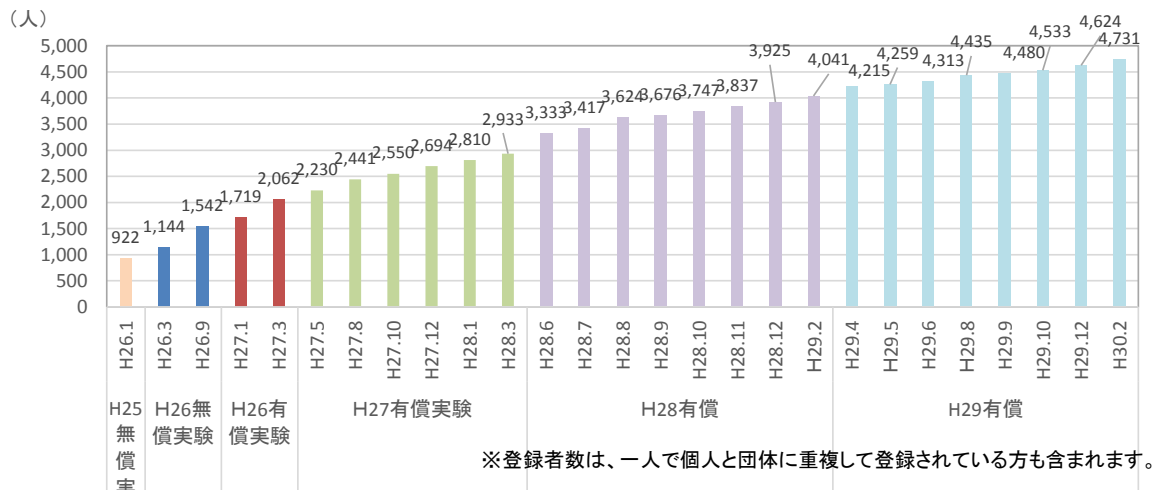


図-7.「おでかけなんじい」の登録者数の推移

2.3 利用状況

(1) 利用者数の推移

- 1日当たりの平均利用者数は、平成29年度の利用者数は84.1人/日となっています。
- 有償化以降、平成28年度までは、年々利用者数が増加してきましたが、平成28年度以降は概ね横ばいで推移しており、後述するように予約の断り件数も増えてきていることから、輸送力のほぼ限界に達していると考えられます。

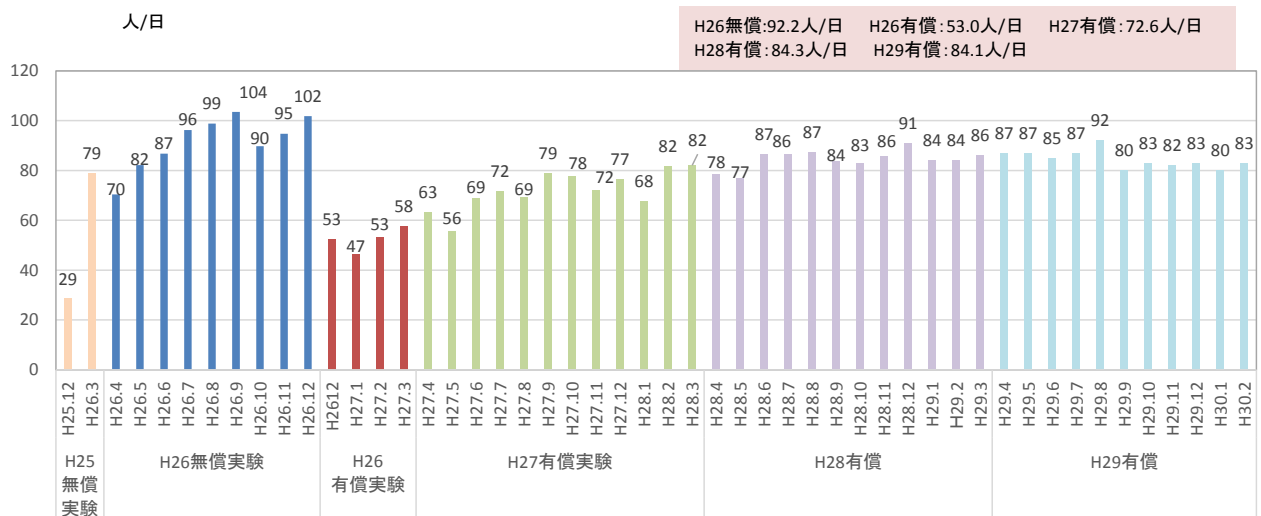


図-8.「おでかけなんじい」の利用者数の推移

(2) 曜日別の利用状況

- 平日・土曜日・日祝日別の利用者数をみると、土曜日、日祝日に比べて、平日の利用が多く、平成28年度以降90人/日を超えています。
- 平日、土曜日は、平成28年度から平成29年度にかけ横ばいで推移していますが、日祝日は利用者数がやや減少しています。

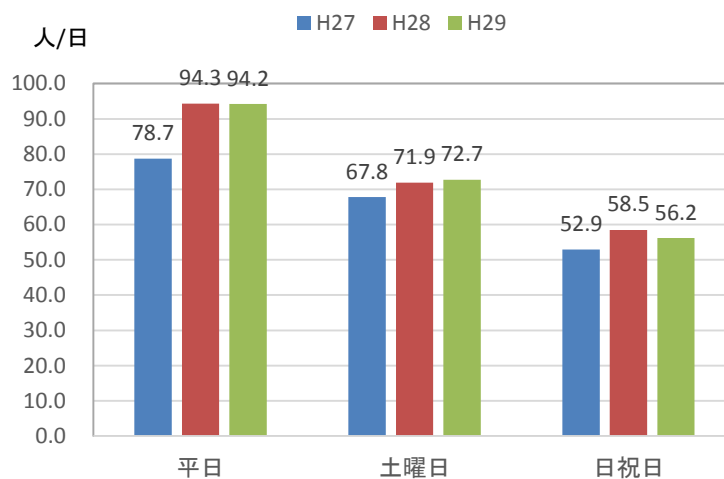


図-9.曜日別の「おでかけなんじい」の利用者数

2.4 利用者の属性

(1) 性別の構成

- 平成29年度（2月まで）における男女比は、27：73と利用者の約7割を女性が占めています。
- 平成27年度からの推移をみると、男性の割合が24%から27%へと増加傾向にあります。

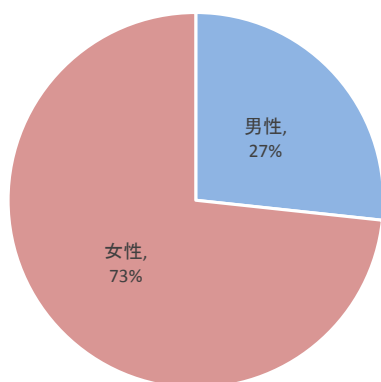


図-10.利用者の性別(平成29年度)

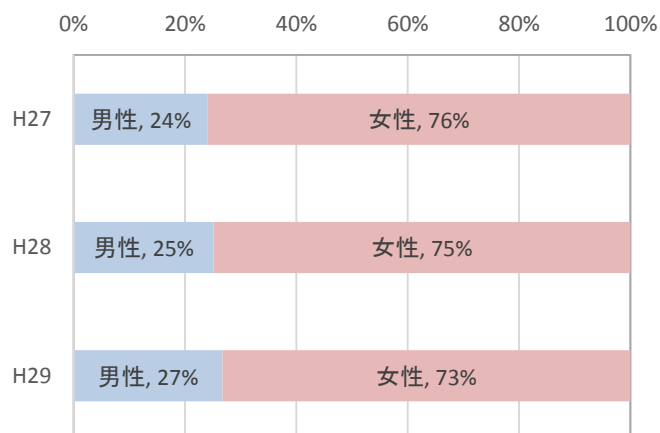


図-11.利用者の性別の推移

(2) 年齢構成

- 平成 29 年度における利用者の年齢構成は、「85 歳～」が 19%、「75～79 歳」が 15%と高齢者の利用が多く、65 歳以上で全体の 71%を占めています。
- 平成 27 年度からの推移をみると、19 歳以下の割合が 7%から 14%に増加、一方で、65 歳以上の割合が低下しており、徐々に若い世代の利用が増えてきています。
- 19 歳以下の利用増加については、H27.11 から向陽高校への乗り入れが始まったことが影響していると考えられ、向陽高校（H27.10 以前は堀川）までの 10 代の利用者は H27 の 588 人から H29 は 2 月時点で 1,136 人へ倍増しています。
- また、7～19 歳の月別の利用状況をみると、夏休み期間の 7～8 月の利用が多くなっており、この時期は公共施設（運動場、体育館等）、小売店への立ち寄りが増えていきます。

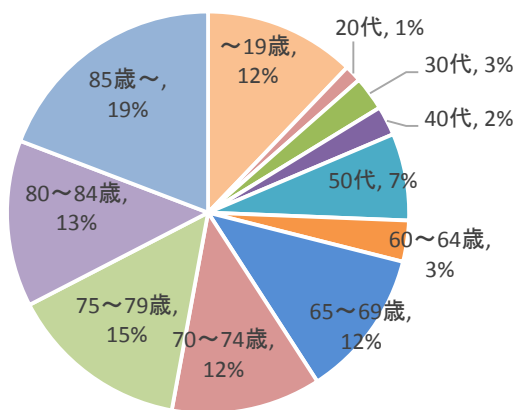


図-12.利用者の年代 (平成 29 年度)

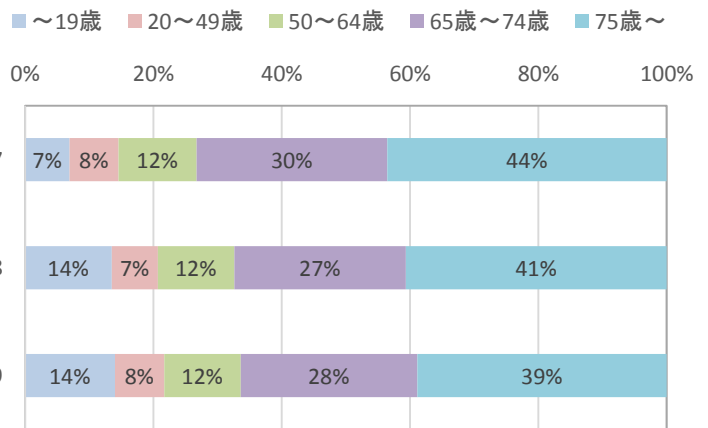


図-13.利用者の年代の推移

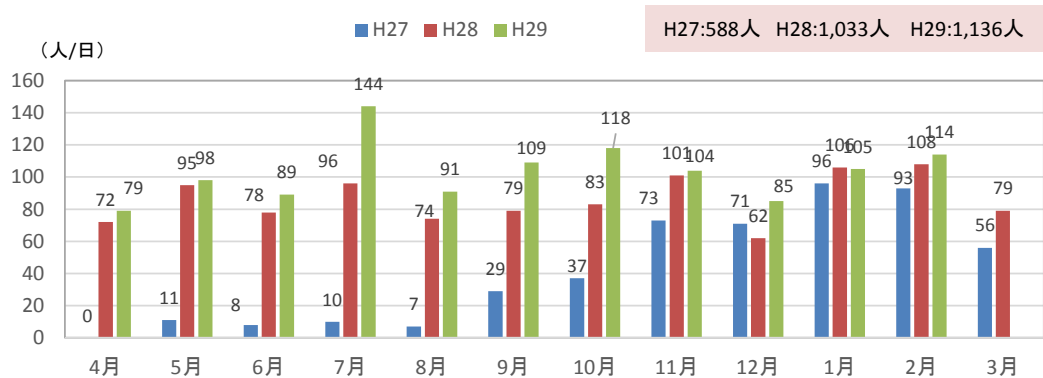


図-14.向陽高校までの高校生の利用者数の推移

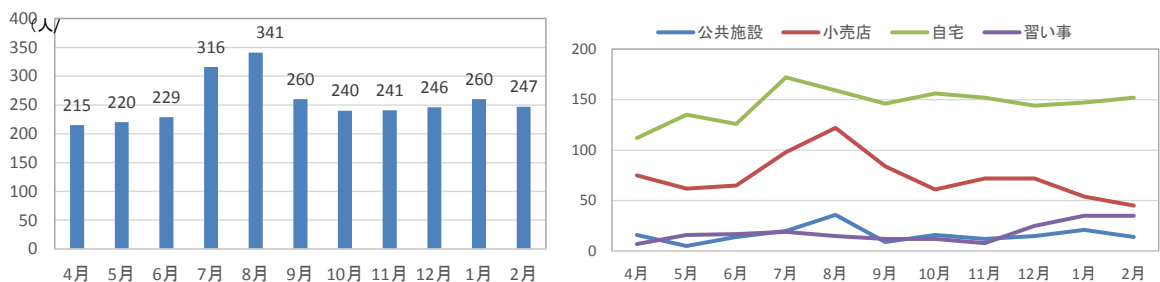


図-15.7～19 歳の利用者数推移 (左: 全体、右: 主な立ち寄り先別)

(3) 市民と観光客

- 市民と観光客の構成比は、市民 93%、観光客 7%となっています。
- 有償化後の市民と観光客の利用者数の推移をみると、市民は平成 27 年度の 65.6 人/日から平成 29 年度は 79.1 人/日と増加傾向で推移しているのに対し、観光客は、6.4 人/日と横ばいで推移しています。

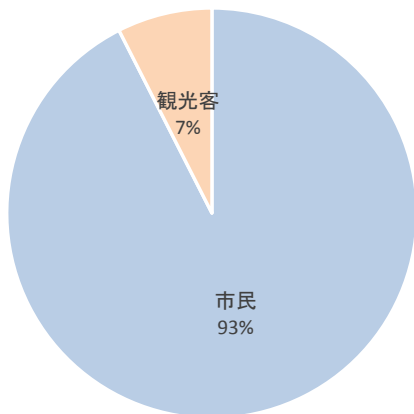


図-16.市民と観光客の構成比

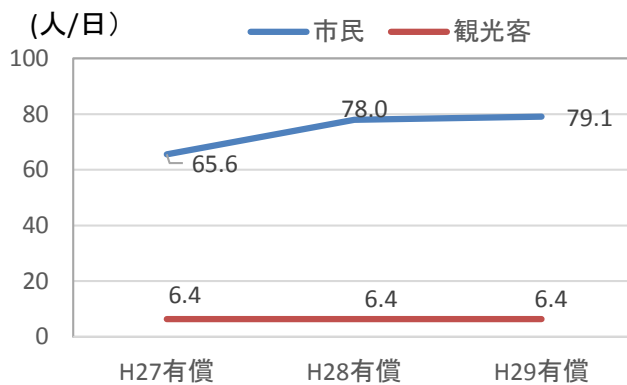


図-17.市民と観光客の利用者数の推移

(4) 月別の市民と観光客の利用者数の推移

- 市民の月別の利用者数の推移をみると、各月とも平成27年度から平成28年度にかけて利用者数が増加しています。平成29年度は、4月、5月は前年より大きく増加していますが、6月以降は概ね前年並みで推移しています。
- 観光客は、年度、月による利用者数のバラツキが多くなっていますが、過去3年間の利用状況をみると、10月～1月の利用が少なくなっています。

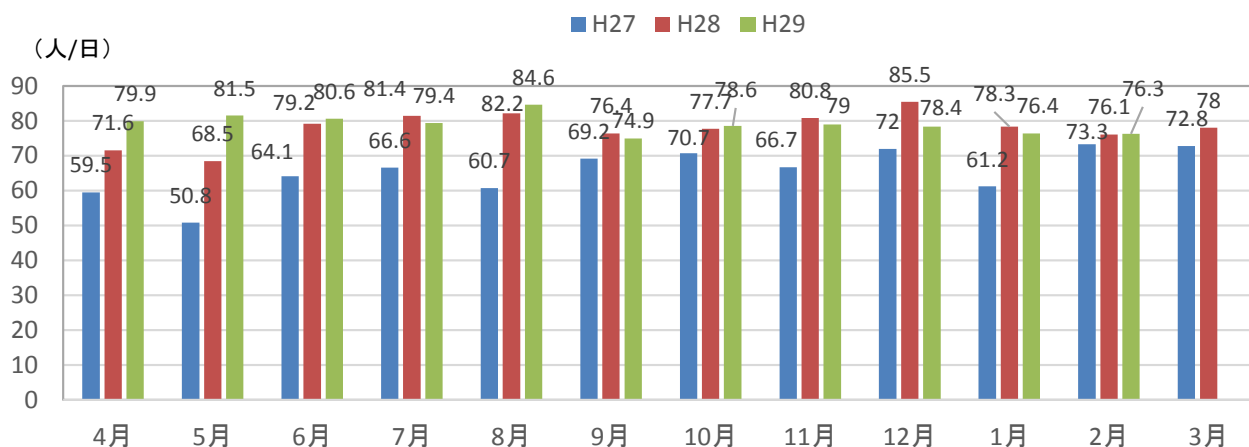


図-18.市民の月別利用者数の推移

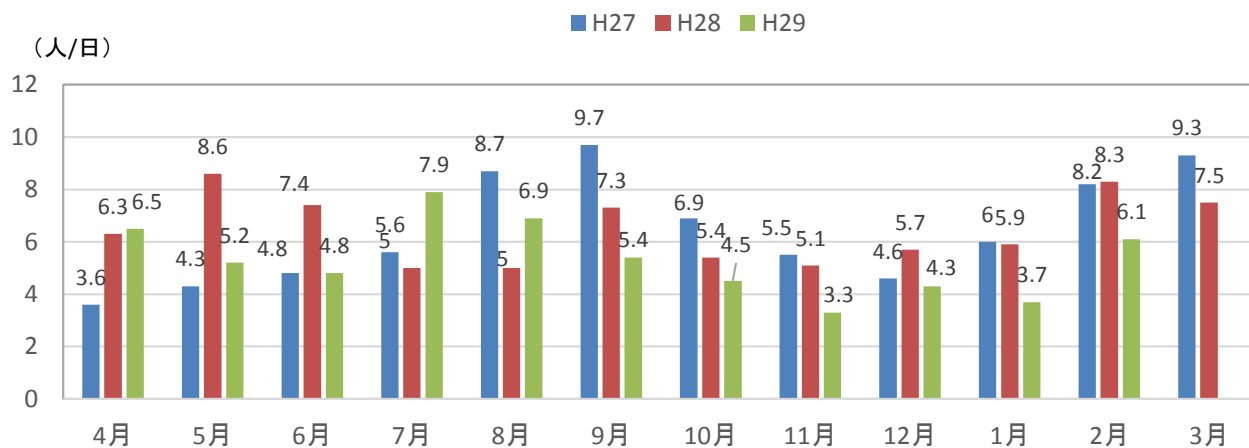


図-19.観光客の月別利用者数の推移

2.5 予約の断り状況

- 平成 29 年度における予約の断り件数は、月ごとに変動がみられますが、減少傾向を示しています。
- 4～2 月の 11 ヶ月間で予約の断りが 1,669 件（1 日あたり 5.1 件、1 便あたり 0.16 件）あり、69%にあたる 1,156 件が運営者都合で断っています。
- 運営者側都合の断り理由は、「満員」が 59%、「移動距離が長い」が 43%とこの 2 つにほぼ二分されています。
- 2 月までに 3,043 件と多くのキャンセルも生じており、1 日当たりのキャンセル件数は最も多い 12 月で 10.4 件/日と 10 件を超えています。
- なお、「おでかけなんじい」の予約時期は「当日」が 75.4%、「1 日前」が 14.6%と利用直前での予約が多くなっています。

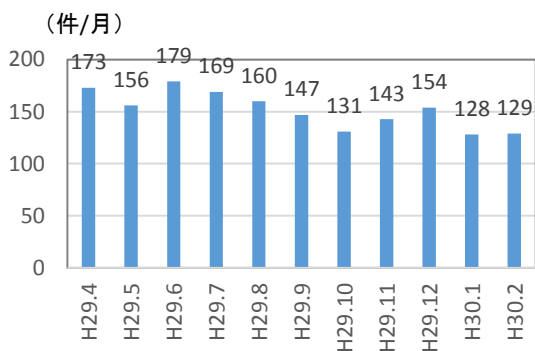


図-20.予約の断り状況の推移

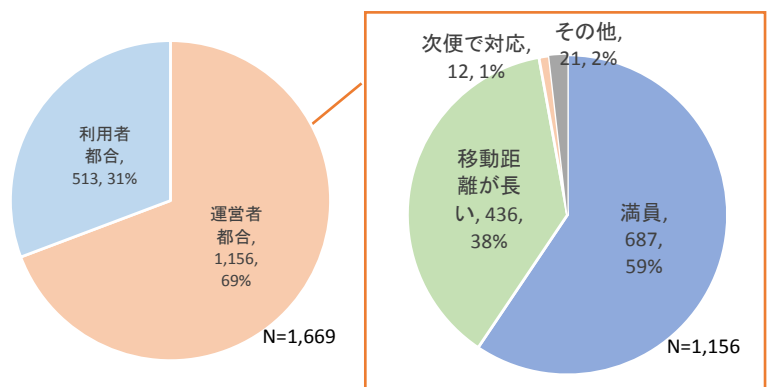


図-21.予約の断りの内訳

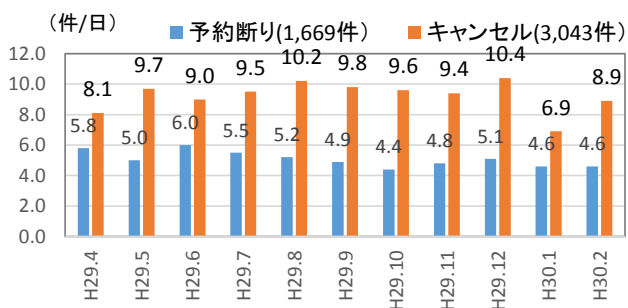


図-22.予約の断り件数とキャンセル数の推移

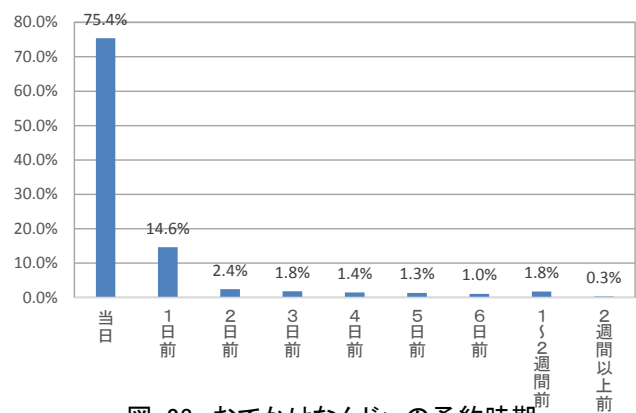


図-23. おでかけなんじいの予約時期